

！市民のわ

フレッシュさん

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介します。中西さんは前回の宮崎さんの紹介です。



なかにし よう
中西 陽さん
(27歳・石崎町)

平成20年4月から、三井住友海上火災保険(株)金沢支店能登支社(藤橋町)で保険相談の仕事に就く中西さん。研修期間が終わる来年3月には独立の道も開けており、残り半年に勝負をかける。

もともと良いイメージがなかった今の仕事も、自分の家族が事故に遭ったとき親切にされたこと、知人に紹介されたこと、また自分で会社の社長になりたいという以前からの夢も重なり、この仕事を選んだ。「これからも保険は必ず必要。この人になら安心して任せられるという仕事をしたい」と思いは強い。

休みの日は趣味の野球漬け。冬場はスノーボードにも通う。

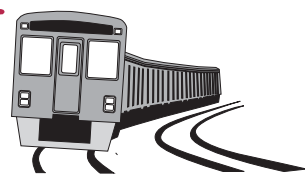
「保険についてわからないことがあれば何でも相談してください」という言葉が何とも頼もしい。

出身地
イギリス・チェシャー県



このコーナーでは、県外から市内へ転入された方の声を紹介します。

思えば
遠くへ
来たもんだ



ロバート・ウォルシュさん
(28歳・小丸山台)

イギリスの大学で奥さんと出会い、不安もほとんど感じないまま海を渡って平成17年に七尾へ。結婚後、ECCジュニア小丸山教室で講師として子どもたちに英語の楽しさを教えている。

日本に来て一番驚いたのは「安全なこと。鍵をつければなしのコンビニ前の自動車、鍵をかけずに外出する家などイギリスでは考えられない」と話す。学校が終わると、イギリスでは遊ぶだけだが、部活や塾に通う日本の習慣にも驚いたという。

休日には2匹の犬を連れて近くへ散歩に。静かなところが好きで、桜の時期の小丸山公園が市内で一番のお気に入りポイント。

寿司や魚が好物で日本の味にもすっかり慣れた様子だ。ただ、梅干や納豆は苦手と外国人らしい一面も見せる。

祭りが大好きで3年前から魚町のか山若衆にも名を連ねる。「祭りがなくなると寂しいので、もっとみんなで盛り上げてほしい」と心から祭りを愛する。見た目は違えて、同じ七尾市民に違いはない。

市長コラム

あたたかい地域の文化が 幸せをつくる



ヒマラヤ山脈の山麓に人口70万人のブータンという小国がある。30年も前に、この国の目標は国民総幸福度(GNH)であると宣言し、人々の幸福な生活を可能にする自然環境、精神文明、文化伝統、歴史遺産などを破壊し、家族・友人・地域の連帯を犠牲にする経済成長は国家の目標ではありえないと、経済成長を追い求める政策とは一線を画し、欲望を小さくすることで国民の幸せを追求しようとしている。

日本は経済発展をめざし、世界の経済大国といわれるようになったが、国民の幸福感は60%台で高くはない。国連の調査で「この国に生まれてよかった」と思う国、世界一はスウェーデンである。日本は最下位の方にいる。

物は増え、便利な世の中にはなったが、必ずしも住みやすくなったとはいえない。以前と比べて核家族が増え、地域の人間関係が疎遠になったように思える。人間も地域の治安も悪くなった。経済成長は必ずしも国民の幸せにはつながらなかったようだ。物の豊かさを求めて走ってきたが、振り返ってみると失ったものが随分と多いように思える。人は幸せになるために生きている。社会には裕福でも不幸な家庭は多いし、反対に貧しくても幸せな生活をしている家庭も多い。幸福とはどんな状態をいうのだろうか。

幸福を感じることは何かを考え、それを進めていくことだ。未来の子どもたちに残さなければならないものは何かを考え、私たちが失ったものをつくり直し、失いつつあるものを残す努力をしなければならない。限られた資源や富を奪い合うことで幸せは得られない。

昔から「助け合い」「分かち合い」があった。ひとつのお菓子を家族みんなで分けて食べた味は、1人で食べるよりもおいしいものだ。先祖が汗と知恵を絞って築いてきた地域社会の祭りや伝統文化、生活、人間関係は、地域住民みんなが幸せな生活を送るための仕組みであり、地域の文化そのものである。

ブータンに学び、あたたかい地域社会の絆でお互いに助け合い分かち合う仕組みで、市民の幸福度を高めることが大切だ。地域の文化振興を図ることが市民の幸せづくりになる。(文化の日)

「文化の薫るふるさとに 豊かな未来夢ひらく」(市民のねがいより)

市長へのメール「前略、市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/>)では、市民のみなさんから市長へのご意見・ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

市政への思いやアイデア をお聞かせください!

①まちづくりに関すること、②生活環境に関することなど前向きなアイデアをお聞かせください。(個人・グループどちらでも可。1組30分以内)

●11月22日(月) 15:00～17:00

会場：中島市民センター 2階応接室

●12月14日(火) 15:00～17:00

会場：七尾市役所 1階102会議室

※申し込みは1週間前まで(公務により中止になる場合あり)

問・申 市民男女協働課 ☎53-8633

広がれ

このコーナーでは、市内のクラブ活動やサークル活動などを紹介します。

楽しい
輪

七尾アマチュア無線協会

(会長 中川高志さん)



「災害時には固定電話や携帯電話などの通信手段はほとんど使えません。個人の無線機で連絡できるので、存在意義は大きい」。そう話す中川会長。

アマチュア無線とは、仕事や金銭上の利益を目的とした運用を禁じられている、趣味で行われる無線通信のことで、テレビやラジオのチャンネルのようなもの。公共の電波を使う通信手段のため、国が認める免許が必要だ。最近では携帯電話やインターネットなどの普及で利用者は減っているものの、いろいろな周波数を利用して国内はもちろん海外とでも「無料」で通信できるのが最大の魅力だ。

もともとは趣味の会だったが、能登半島地震の前年に七尾市と防災協定を締結し協会を設立。会員は現在32人で七尾鹿島地域が中心。「災害時の役割を考えれば、人材・機材とも不足で課題も多い。資格があり無線機を持っていたら活動していない人は、ぜひとも力を貸してほしい」と思いは切実だ。

11月21日(日)に和倉温泉多目的グラウンドで行われる市の防災総合訓練では、現地無線本部を設置予定。見学大歓迎!

問 事務局長 谷内 ☎050-3427-1149